

こっこめ通信 09 2008

「島らしくあるために」号



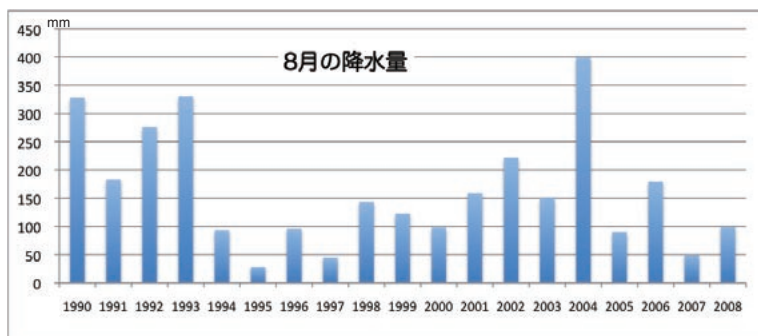
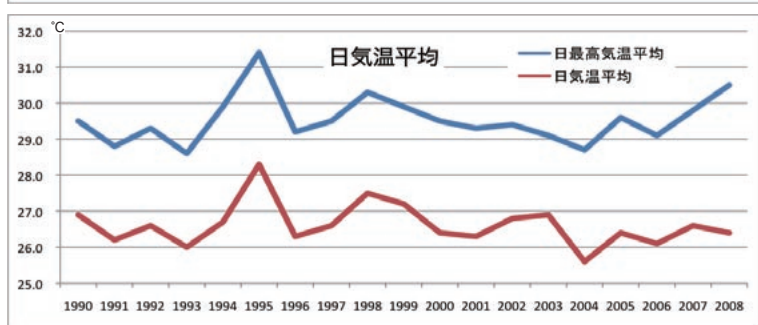
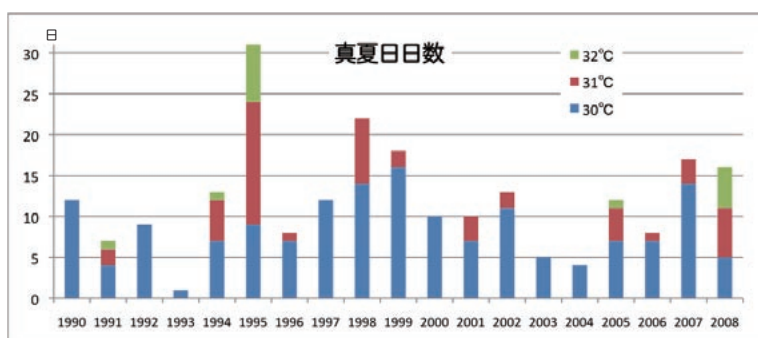
八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

「満天の星空」今年の夏はこの言葉がよく似合う夏でした。「プラネタリウムよりも星が多く見えるんですね」とお客様から言われた一言が島民としてとてもうれしかったです。暑い夏でもこんなにたくさんの星が見られるならば暑さなど我慢しなければなりませんね。

さて、今回は「カラカラで暑い夏」「淡水に棲む生きものたち」「淡水生物調査結果」についてのお話です。8月は植物公園季節調査会がお休みのため、植物の調査記録はありません。

カラカラで暑い夏

今年の気候は少し変です。5月は台風の接近などもあり降水量が過去最高を記録。6月は気温が低く、月平均気温が6月としては2番目に低い記録。7月は降水量が平年の19%と「少雨に関する東京都気象情報」が発表される程でした。そして8月は、お盆過ぎまでは広く太平洋高気圧に覆われ「カラカラで暑い夏」、一転お盆過ぎからは「どんよりとした涼しい夏」となっています。



左のグラフは1990年から8月の気象統計を基に作成したものです。(2008年のみ8月25日までの統計)

上段の“真夏日日数”を見ると日数自体はそれほど多くないですが、32°C以上の真夏日が多いのが分かります。16日間の真夏日中、5日間も32°Cを超える日がありました。そのため中段の“日気温平均”で日最高気温平均だけが上がっているのです。また日気温平均が高くないのは、日中に上がった気温が夜間から早朝にかけては下がっているためです。都会では最低気温が低くならないのが辛いですね。

また、雨に関しては、25日までに108.6mmの降水量がありました。しかし、そのほとんどは15日以降に降ったものです。前半に降ったのは6日と11日の二日間だけ。二日ともに降水量は少なく、降った雨はすぐに乾いてしまいました。16日には台風が接近しましたが、勢力が弱く影響はありませんでした。元々8月の降水量は年によって、かなり違います。低気圧や台風により一日にたくさんの雨が降った年は全体の降水量も多くなっています。

あまりにもいつもと違いすぎる天候、これから先が少し心配になってしまいます。

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

淡水に棲む生きものたち

7月26日に鴨川ホタル水路で開催した「川の生きもの観察会」において、今まで島の中で確認されていなかった「ボウズハゼ」「グッピー」が記録されました。そこで、淡水に生息する生きものを少し調べてみました。

その昔、八丈島には水田がたくさんありましたが、現在はホタル水路周辺に一部残っているだけです。下の表に記録がある生きものも水田とともにいなくなってしまったのかもしれません。

八丈島で記録のある淡水に棲む生きもの（幼虫の時だけ生息するものや周辺に棲むものも含みます）

昆虫類			
半翅目	マツモムシ科	マツモムシ	★
		クロイワコマツモムシ	★
		コマツモムシ	
	ミズムシ科	ミズムシ	★
		コミズムシ	
	アメンボ科	アメンボ	★
		ヤスマツアメンボ	★
		コセアカアメンボ	
		シマアメンボ	★
コウチュウ目	ホタル科	ゲンジボタル	★
		ヘイケボタル	★
	ゲンゴロウ科	マルケシゲンゴロウ	★
		ホソセスジゲンゴロウ	★
		クロマメゲンゴロウ	★
		マメゲンゴロウ	★
		クロズマメゲンゴロウ	
		ヒメゲンゴロウ	★
		エゾヒメゲンゴロウ	★
		シマゲンゴロウ	
		コシマゲンゴロウ	
		コガタノゲンゴロウ	
	コガシラミズムシ科	コガシラミズムシ	
	ガムシ科	キベリヒラタガムシ	
		フタホシヒラタガムシ	
		シジミガムシ	
		コガムシ	
		ガムシ	
		ヒメガムシ	
		マメガムシ	
トンボ目	イトトンボ科	アオモンイトトンボ	★
		ヤンマ科	
	ヤンマ科	カトリヤンマ	★
		ヤブヤンマ	★
		ギンヤンマ	★
	トンボ科	シオカラトンボ	★
		オオシオカラトンボ	★
		ネキトンボ	★
		コシアキトンボ	★
		ハネヒロトンボ	★
		ウスバキトンボ	★
		ウルマーシマトビゲラ	
トビゲラ目	シマトビゲラ科	シマトビゲラ	
	カクツツトビゲラ科	カクツツトビゲラ	

魚類			
ウナギ目	ウナギ科	オオウナギ	★
		ウナギ	★
コイ目	コイ科	コイ	★
		ギンブナ	
	ドジョウ科	ホトケドジョウ	★
サケ目	サケ科	ヤマメ	★
カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ	★
		グッピー	★
ダツ目	メダカ科	メダカ	
スズキ目	ハゼ科	ボウズハゼ	★

甲殻類			
十脚目	ヌマエビ科	ヤマトヌマエビ	★
		トゲナシヌマエビ	★
	テナガエビ科	テナガエビ	★
		モクズガニ	★
	イワガニ科	アカテガニ	★
		アカテガニ	★
	サワガニ科	サワガニ	★
		アメリカザリガニ	★

両生は虫類			
サンショウウオ目	イモリ科	ニホンイモリ	★
カエル目	アマガエル科	ニホンアマガエル	★
		アカガエル科	★
		ニホンアカガエル	★
		ヤマアカガエル	★
カメ目	ウシガエル	ウシガエル	★
		クサガメ	★
	ミシシippiaアカミミガメ	ミシシippiaアカミミガメ	★
		スッポン	★

貝類			
基眼目	モノアラガイ科	モノアラガイ	★
		サカマキガイ	★
	ヒメモノアラガイ		
盤足目	カワニナ科	カワニナ	★
	リンゴガイ科	スクミリンゴガイ	★

種名の右に“★”マークのあるものはビジターセンターで生息が確認できたもの、あるいは採集され標本があるものです。
上記の他に双翅目の仲間を確認されているのがあります。

陸続きになった事がないと言われる八丈島、淡水の生きものは島にどのようにやってきたのでしょうか？

一番の原因は水でしょうか。上の表の昆虫類・貝類などは、人為的に移入したホタルの餌のカワニナが入っていた水の中に入っていた可能性が高いです。また、両生類・は虫類は、人為的に放たれた、もしくは飼育していたものが逃げたのかどちらかであることは間違いありません。

魚類に関しては海から遡上するオオウナギ、ウナギ以外はすべて人為的に放されたもので、ヤマメは1981年に卵を大川上流に移植した記録が残っています。また今回記録されたグッピーは昨年修復工事をしていたホタル水路内で見られたため昨年から今年にかけて放たれた可能性が高いです。ボウズハゼに関しては成魚が見られないことやホタル水路内で見つかったため海から遡上してきたのか疑問がもたれます。

淡水生物に限らず、八丈島のような他と隔離されている環境で、人為的に生物を持ち込むことは非常に危険なことです。むやみに放つことや逃がすことは決して許されることではありません。「大丈夫だろう」なんて軽い気持ちでいると取り返しのつかないことになってしまうかもしれません。

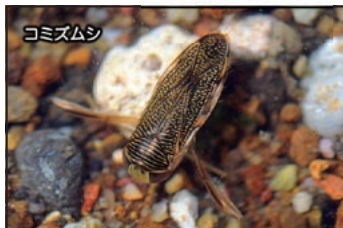
生きものを、逃がす、放つ行為は決してしないでください。



鴨川・ホタル水路・いずみ親水公園周辺

グッピー・カダヤシ・ボウズハゼ・ホトケドジョウ・コイ・ウネギ・ヤマトヌマエビ・トゲナシヌマエビ・テナガエビ・モクズガニ・アメリカザリガニ・ニホンイモリ・ミシシッピアカミミガメ・サカマキガイ・カワナ・スクミリンゴガイ・マツモムシ・クロイワコマツモムシ・ミズムシ・アメンボ・シマアメンボ・ヘイケボタル・アオモンイトトンボ・ギンヤンマ・シオカラトンボ・ネキトンボ・ウスバキトンボ・コシアキトンボ

淡水生物調査結果



2008 八丈ビジターセンター 9 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6 ガイドウォーク
	05:36 11:52 18:12	06:16 00:07 18:30 12:21	06:56 00:38 18:49 12:47	07:36 01:10 19:07 13:11	08:19 01:45 19:27 13:34	09:12 02:24 19:47 13:54
白露 7 ガイドウォーク	8	9	10	11	12	13 ガイドウォーク
10:35 03:12 20:07 14:06	04:21 20:25	06:05 16:05	07:40 15:53 21:15	01:17 08:40 16:06 21:33	02:29 09:22 16:23 21:55	03:17 09:58 16:42 22:19
14 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	15 ガイドウォーク	16	17	18	19	20 ガイドウォーク
03:59 10:31 17:02 22:46	04:40 11:02 17:23 23:15	05:21 11:34 17:45 23:47	06:04 12:05 18:07	06:49 00:21 18:29 12:35	07:37 00:58 18:51 13:04	08:33 01:40 19:13 13:31
21 ガイドウォーク	22	秋分 23 ガイドウォーク	24	25	26	27 ガイドウォーク 八文学講座 「秋の植物観察会」
09:47 02:30 19:37 13:56	12:06 03:36 20:01 14:10	05:10 15:17	06:56 15:22 20:54	01:00 08:13 15:42 21:20	02:26 09:07 16:03 21:47	03:23 09:48 16:23 22:15
28 ガイドウォーク	29	30				
04:10 10:23 16:42 22:42	04:51 10:54 17:00 23:10	05:31 11:23 17:19 23:38				

この色の日は
特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
9/14（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「秋の植物観察会」

毎月行っている八文学講座。今月は、鴨川ホタル水路で秋の植物を観察します。
9/27（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
鴨川ホタル水路集合・解散 参加費：100円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2008.9.1 第88号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

淡水の生きものはどこからどこまでが移入種として扱うべきなのでしょうか？そう考えると難しくなってしまいます。しかしこれ以上、島外から新たな生きものが入り込まないようにしなければならないことは確かなことです。（高）